

令和8年度 施策事前評価シート

施策責任者 所属	産業振興課		電話番号	直通	989-5516
基本目標	住みやすく働きやすい豊かなながいずみ				
政策	持続的に発展するまちの実現		施策分野	商工業	
施策分野 の総事業費	前年度 決算額	122,943	千円	今年度 予算額	145,763 千円

施策の進捗状況

	成果指標名称	年度	現状値 (R6)	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和12年	単位	進捗 評価
1	製造品出荷額等	目標値	4,500	4,500	5,100	5,200	5,300	5,500	億円	A
		実績値	4,966	6,247						
2	町による支援（相談・起業資金支援等）を受けて 起業した年間件数	目標値	10	10	20	20	20	20	件	A
		実績値	23	25						
3		目標値								
		実績値								
4		目標値								
		実績値								
					総合評価			A：想定以上に進んでいる		

事前分析

施策分野における これまでの 取り組みの概要	・勤労者の住宅取得資金及び教育融資資金の利子補給の実施 ・商工会活動推進事業の支援、長泉ブランドの促進支援 ・中小企業の経営支援（利子補給、新製品開発や販路拡大、人材確保等） ・企業誘致・留置支援の実施（調査、補助金、町内企業へのヒアリング） ・起業創業支援の実施（起業セミナー、起業創業支援事業費補助金、起業人材育成） ・コワーキングスペース等拠点の運営、チャレンジショップ設置、空き店舗対策
施策分野における 背景・環境 及び抱えている課題	・大手企業や工業団地が存在し、化学工業を中心に県下有数の工業生産を誇り、製造品出荷額は県内町部で第1位となっている。一方で、既存企業は設備の老朽化や事業用地の確保など、町内における規模拡大、操業継続に課題を抱えている。 ・企業誘致は、新東名IC周辺で物流系のニーズが高いが、候補エリアは、法規制があるため、スピード感など他自治体と比較しても優位性に欠けている。 ・起業創業支援事業は、起業数は増加しているが、飲食店など魅力のある路面店舗等の小売店の起業が少ないため、にぎわいの創出につなげていない。そもそも不動産物件のみならず町内には空き店舗等の物件の活用も少なく、制度の改正やサポート体制を拡充する必要が生じている。 ・中小企業等でも人材の確保が課題となっており、商工会主催による金融懇談会でも各金融機関から中小企業の課題として挙げられている。
施策分野における 改革・改善内容 及び今後の見通し	・ファルマバレープロジェクト、“ふじのくに”のフロンティアを拓く取り組みなど地域の強みを活かした企業誘致・留置を図るため緑地率の見直し検討、ヒアリングの継続、補助事業の充実及びPRを行う。 ・起業創業支援事業については、令和8年度までの期限付きとなっており、空き店舗等の活用と併せてにぎわい創出につながる制度に見直しを検討する。 ・コワーキングスペース運営事業により把握した課題に対し、起業人材育成、チャレンジショップの運営、空き店舗対策を委託事業として実施しており、商工会とも連携して新産業の振興、新たに起業創業を目指す方や既に起業した方のサポートを行う。 ・中小企業等の人材確保については、ハローワーク沼津主催に切り替え、広域での取組により合同就職面接会を開催し充実を図る。